

「情報公開文書」

単機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

「東海大学医学部付属病院における 摂食嚥下支援チームが介入した患者の入院中の嚥下機能の推移」

1. 研究の対象

2023年4月1日から2024年3月31日までの間に、当院の「摂食嚥下支援チーム」が介入した方を対象としています。

2. 研究実施期間

許可日 から 2025年12月31日 まで

3. 研究目的・方法

目的：2023年4月1日から2024年3月31日までの間に、摂食嚥下支援チームが介入した患者さんの嚥下機能の変化、食事経路の変化、食事形態の変化等について検討することを目的としています。

この研究に使用する情報として、診療情報から項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

研究に同意しない場合の申し出は、研究データの分析前（2024年9月末）までに申し出ることができます。それ以降は撤回することができません。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

主要評価項目：FOIS（摂食嚥下能力グレード）

副次的評価項目：疾患名、性別、診療科、年齢、摂食嚥下支援チームの介入期間、転帰、在院日数、摂食嚥下障害臨床的重症度分類（DSS）、意識レベル（JCS）、機能的自立度評価法（FIM）、入院時・退院時の栄養経路、入院時・退院時の食事形態、胃ろうの有無、口腔ケアの点数評価、摂食機能療法介入日数、経口摂取開始までの術後日数、言語聴覚士の介入の有無、合併症の有無、気管カニューレ挿入の有無、人工呼吸器挿入の有無、体重、救命センター経由の有無、経口摂取移行数、誤嚥性肺炎発生数
試料：該当なし

5. 情報の提供先・提供方法

この研究は、情報の提供先は特にありません。

今後、本研究で得られた情報を、将来の新しい研究や、第三者へ提供する場合には、再度倫理審査委員会承認を受けてから利用いたします。

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：8311）

研究責任者 看護部 13A 病棟 三橋 力輝斗

問い合わせ担当者 看護部 13A 病棟 三橋 力輝斗